

## 県政学生モニター会議 開催結果（概要）

平成 27 年 8 月 22 日(土)9:30~11:00

愛媛大学法文学部本館 8 階大会議室

### ○ 就職するにあたって重視するもの

- ・雇用と給与が安定している。
- ・育児休暇をとることができて子供を産んでからも働き続けられる職場環境。
- ・自分の能力を発揮できて自分を成長させることができる。
- ・自分を評価してくれてそれなりに賃金が貰える。
- ・自分のやりたいことができる。
- ・従来の価値観にとらわれないことにチャレンジできる。
- ・労働環境が悪い（法令を遵守しない）ところは避ける。
- ・職場の人間関係と賃金。
- ・ボランティア活動や人材育成を重視する企業である。
- ・男女差別がなく若い人も発言しやすい職場環境。

### ○ 一次産業に対するイメージや一次産業への就職意識など

- ・農業、漁業など生産業への学生の興味がもう少し高くなれば愛媛県が良くなると思う。
- ・大学に入って六次産業化や南予の養殖に携わっている人と話す機会があり意識が変わった。中学校や高校などもっと早い段階でそういう方と接する機会があればよいのではないか。
- ・儲かっている人の情報を発信すれば若者の一次産業に対する意識が変わるのではないか。
- ・農業というと田舎が多く、若者に魅力のある施設がないと住みたがらないと思う。
- ・農業や林業は土地が必要であったり、漁業も権利の問題があるなど外から新規に始めようとしても始めづらい。
- ・初期投資がある程度かかるため、お金のない若者に対する金銭面での支援を充実したほうが良いと思う。
- ・収入が安定していないため多額の初期費用をかけてまで始めづらい。

### ○ 就職するにあたって重視するものとして挙げたことなどを情報として企業から得ることができているか

- ・自分から情報を得ようとしているかどうかで違ってくると思う。
- ・実際に企業で働き始めてから職場の労働環境が悪いとわかった、という話を聞いた。
- ・企業から情報を収集する際に企業は都合のいい部分しか教えないということがあると思うが、いかに企業にとって都合の悪い部分の情報を集めることができるかが重要であると思う。

### ○ 将来、自分の地元に戻って住みたいと思っているか

- ・地元もよいが自分のやりたい仕事ができるところ、交通の便がよいところがよい。
- ・生まれ育った地元が好きなので戻りたいと思う。
- ・自分のやりたい仕事がないので地元へ戻ろうと思わない。
- ・地元は就職先が少なく同年代の若者の多くが外へ流出している。
- ・地元について住みにくいところとは思わないが、特にこだわりはない。

## ○ 地元（愛媛）に住んでもらうためには何が必要か

- ・郷土愛を育てることが大事。
- ・小さいころから地元を知る機会を増やす。
- ・小さいころの郷土学習は年を重ねてきてからの郷土愛につながる。
- ・田舎だと子供をのびのびと育てられる。そういう環境で育った人が親になり子供を育てるときに、自分の子供をのびのびと育てたいと思い、地元に戻ろうと考えるのではないか。

## ○ その他

- ・パワハラやセクハラがなくなるよう行政や会社が指導、改善する必要がある。
- ・現在の日本の労働問題は男女差別から非正規雇用に移っている。非正規雇用者の意見を聴くことも大事だと思う。
- ・非正規雇用者について、欧米などでは多くの賃金を貰っているが、日本ではまだまだ逆に仕事ができない人で使い捨てられる対象となっている。日本では非正規雇用に対する意識改革が必要ではないか。
- ・地方の県などが国内の大都市や海外の都市と連携協定を積極的に結び、つながりを広げていけばいいと思う。
- ・地方に高齢者の楽園を作ることにより、高齢者が高齢者を支え、また、さまざまな地域に分散している介護が必要な高齢者を一点に集めることにより、介護人材不足を補うことができると考える。